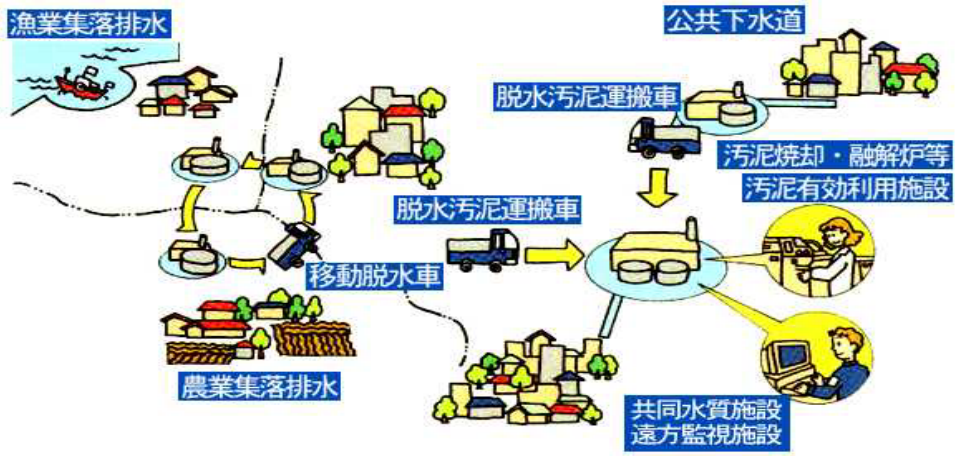
汚泥の安定的・永続的な処理のためには、減量化、有効利用化が必要であり、効率的に行うために集約化、広域化が重要です。

このため、複数の下水道や他の汚水処理施設の共同化等を行う「スクラム」や「MICS」事業が、事業化（計画）されています。

また、福島県では近隣公共下水道と流域下水道の汚泥を処理する「流域下水道事業」も実施されています。



MICS のイメージ図

資料：東北地方整備局